

住民主体の『かのがわ古道』再生・創造・伝承

かのがわ古道の会

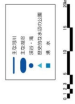
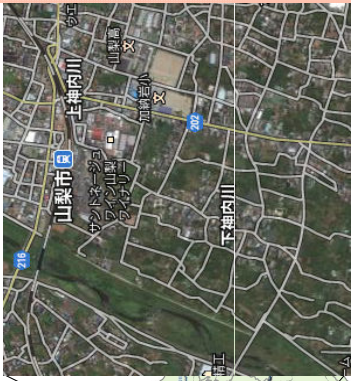
かのがわ古道整備の経緯について

- 平成16年**
下神内川2区において、山梨市駅南口の整備を含めた駅南口のまちづくりを考えるため、**2区まちづくりの会設立**
区民全戸より地域の近未来像についてアンケート調査、意見交換会実施
- 平成17年**
山梨市駅南地域まちづくり促進協議会(通称:2区まちづくりの会)と正式名称を決定。桃の花、菜の花、果樹園、文化財等の資源を生かしたまち(道)づくりを行うので、市に協力依頼
- 平成18年**
道路整備事業等(かのがわ古道)をまちづくり交付金事業の一環として決定
県内外数箇所のモデル的まちづくりの視察、検討
駅南地域3つの区と駅南口開設及び近隣整備の目的で**駅南地域合同まちづくりの会**発足
- 平成19年**
下神内川まちづくりプロジェクトを発足させ具体的な整備活動
- 平成21年**
かのがわ古道 広場着工
- 平成22年**
かのがわ古道 広場完成 プロジェクト解散 以後の管理を下神内川2区及び2区まちづくりの会へ引き継ぐ
- 平成23年**
かのがわ古道の会発足

かのがわ古道について (山梨市下神内川2区)

神内川:狩野川 カンの川原
山梨市駅の南側に広がる市街地

古来より、秩父往還、青梅街道、鎌倉街道をつなぐ交通の要衝。
笛吹川の清流から取水し、過去6ヶ所に水車があり農業や生活に利用されていた。

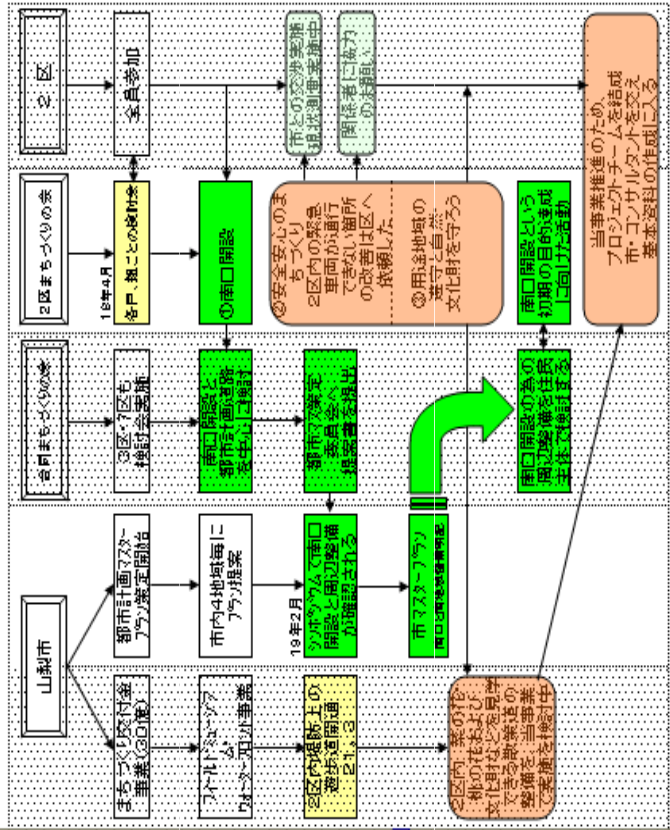


水質の悪化による水環境問題
地区内道路の狭あい道路の問題

都市化の進行

下水道の普及・環境美化活動により小河川の水質向上は図られているが、地区内道路の緊急車両が入れないなどの問題が残る。

行政および各会の関係



下神内川まちづくりプロジェクト (平成19年2月)

山梨市と、2区まちづくりの会および区で事業の具体化について協議を進めていく中で、事業の効率的推進や住民参加を図ることを目的に発足

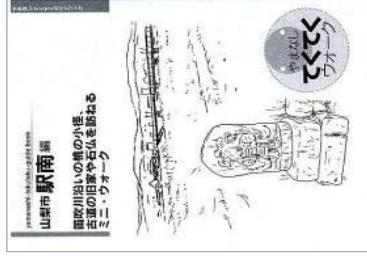
Oプロジェクトメンバー

区役員、2区まちづくりの会役員、各種団体の代表、公募、学識経験者など 約23名で構成

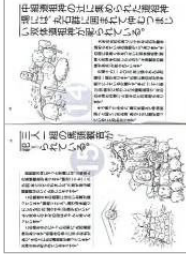


以後、プロジェクトと市が綿密な協議を進めながら、整備事業推進を進めていく

自分たちの地域を知ろう！
区民も石造物の多さにビックリ！



プロジェクトがNPOの協力で作成した小冊子
上 まち歩きイベント「てくてくウォーク」の様子



県内外の水を生かしたまちづくりの視察



ドブ川から清流に復活「源兵衛川」視察(三島市)



県内外の水を生かしたまちづくりの視察



学習会・検討会



かのがわ古道 整備計画工程

区分	項目	平成21年(2009年)																		
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月							
市	設計(公園広場)		基本設計																	
	用地交渉																			
	工事(かのがわ古道)																			
	工事(公園広場)																			
	まちづくりルールづくり																			
	まちづくりルール作成																			
	パブリックコメント(公園広場・道路・景観等)																			
	設計(沿道景観)																			
	工事(沿道景観)																			
	設立(古道及びまちづくり運営管理組織)																			
オープンレシモニー(実行委員会)																				

水辺ミニ公園(構想図)



沿道景観造り(現況ブロック)



検討案1:ツタ



検討案2:生垣



検討案3:竹垣



検討案5:板塀



検討案4:板塀



区民の多くが参加して古道沿いの板塀・木製プランターの制作・設置



完成した「かがわ古道」と板塀



整備前後

復元された川端(洗い場)と整備された石仏周辺



完成した「かがわ広場」とピオトープ



あずまや、水車、ピオトープ、ポケット広場、川ばた、案内板 など

古道・広場の完成記念式典の開催 (平成22年4月10日)

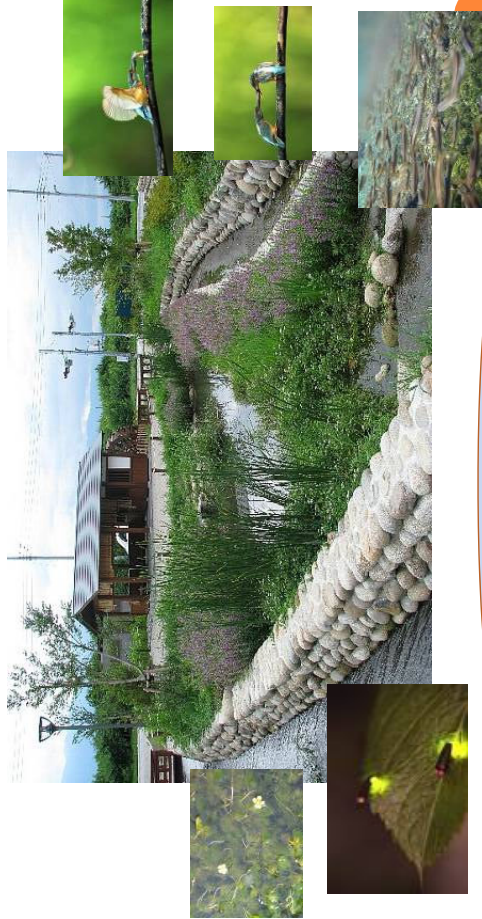


シンボルである水車



完成後の地域での活動

清掃活動：まちづくりの会が中心となり個人や近隣住民が自主的に行っている



ホテルや小魚が住む池へ

かのがわ古道の会活動(会員：区民全員)

目的

「かのがわ」に生まれて、住んで良かったと誰もが思える地域づくり

活動

- ① かのがわの歴史、文化の伝承
- ② かのがわの自然環境の保護、育成
- ③ かのがわ古道の案内と案内人養成

「かのがわ」の歴史を伝える冊子 「かのがわ古道物語」

かのがわ古道物語
葉の花と楓の花咲く歴史の道



山形市下柳町川まちづくりプロジェクトチーム

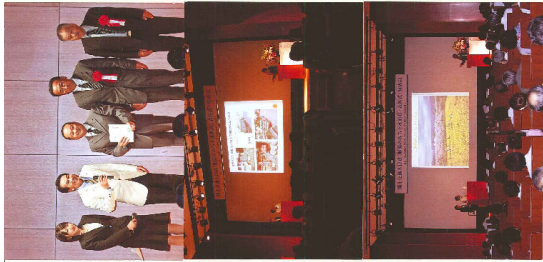
長野県飯伊景観形成住民協定連絡協議会など
多くの団体等が視察や散策に訪れた



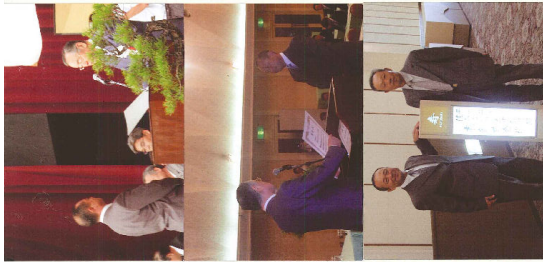
自主的清掃活動



循環のみち下水道賞 国土交通大臣表彰



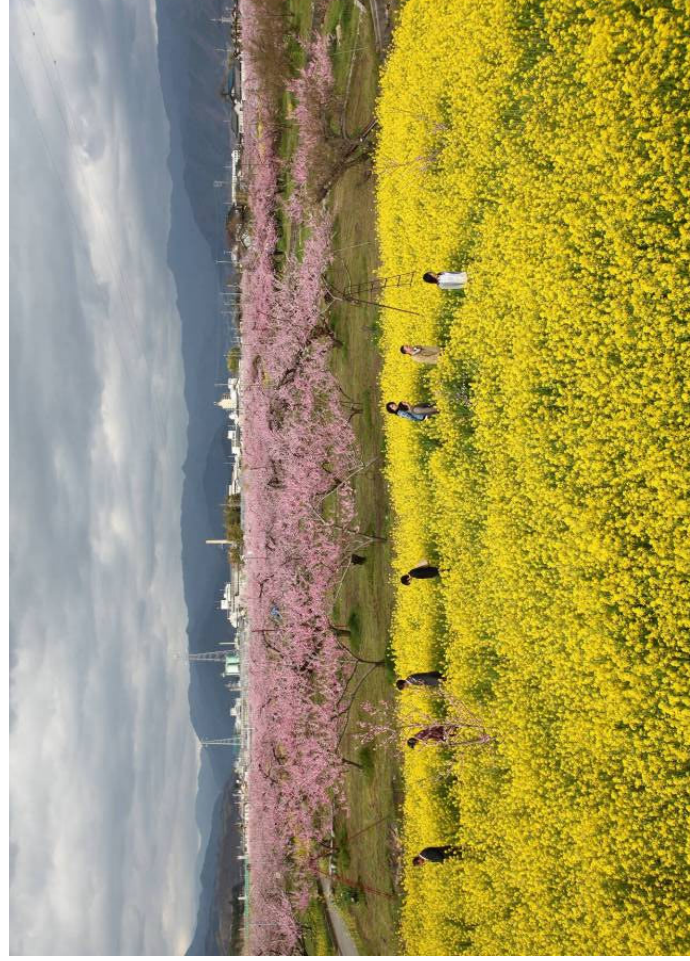
山梨県まちづくり功労表彰 山梨県知事表彰



桃と菜の花の沿道(菜の花の会)



ご清聴ありがとうございました。



やまなしの美しい県土実現に向けて ～山梨県美しい県土づくり推進宣言～

人は気持ちの良い景色、風景を好み、これらを望める美しく心地よい場所に集まります。そして、こうした素晴らしい景観であると賞賛される場所は、公的な施設だけでなく、私的な敷地や建物をはじめ周辺の間々や農地などが一体となって美しい景観をつくり出しています。

本県は世界に誇る富士山をはじめとする、一級の自然景観に恵まれ、さらには歴史的、文化的な積み重ねによって形成され、私たちの暮らしに潤いをもたらす、地域に対する誇りと愛着を生み出すとともに、訪れる人々にも感銘を与えてきた、個性のある景観が形づくられてきています。

県民の大きな誇りであり、かけがえのない財産である、ふるさと山梨の美しい景観を保全し、さらに磨きをかけ、次代に継承していくことは、現代に生きる私達に課せられた重大な責務であると深く認識し、景観づくりに対する自覚と見識をもって、自ら継続的に空間の質を高める取り組みを起こしていかなければならないと考えます。

「景観十年、風景百年、風土千年」という言葉があるように、景観づくりは一朝一夕にできるものではなく、息の長い取り組みが必要です。

このため、住む人が誇りを持って住み続けられ、訪れた人に何度も来てみたいと思っただけのような、美しく風格のある、世界に開かれた山梨の実現に向けて、本日集った県民、事業者、NPOや各種団体そして行政等の幅広い主体が協働・連携し、全県的かつ継続的な景観づくりにより一層積極的に取り組んでいくことをここに宣言いたします。

平成24年1月30日

山梨県美しい県土づくり推進大会参加者一同